

てだこ浦西駅の交通結節機能強化に関する検討

沖縄県 土木建築部
都市計画・モノレール課



てだこ浦西駅の整備背景

- 沖縄都市モノレールの終点「てだこ浦西駅」は、沖縄自動車道との接続による**広域交通軸を形成し、本島中北部地域からの定時・定速性、時間短縮等の利便性向上を図る**目的で整備されました。

てだこ浦西駅に関する関連計画（主な目標）

県の上位計画

※沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月）等より引用

- ✓ **幸地IC(仮称)との結節**を図り、中部方面以北からの路線バスやP&Rによる利便性を高める
- ✓ **パーク＆ライド駐車場の利用促進、高速バスとの結節、シェアサイクル及びレンタカーとの連携**
- ✓ **まちづくりと連携した交通結節点の整備、私事や買物等の利用促進に向けたイベント実施**の継続
- ✓ バス停上屋の整備、**デジタルサイネージ・動的データのオープン化**

浦添市の関連計画

※浦添市地域公共交通計画（R6年2月）、
てだこ浦西駅周辺スマートシティマスタープラン（R4年3月 浦添市）等より引用

- ✓ 総合交通結節点として整備（交通結節、交流機能、景観、防災等）
- ✓ 今後市内で検討するコミュニティバス、小型モビリティとの連携強化
- ✓ 大型商業施設等の誘致による多機能拠点の形成（にぎわい）
- ✓ 地区内事業者の協力による防災への取組

主な目標

- ① 高速道路との結節・連携（各種バスとの結節、P&R促進、レンタカー連携等）
- ② 乗換機能強化（端末・二次交通との結節、多様なモビリティ確保、乗換案内強化）
- ③ まちづくりと連携した拠点形成（にぎわい創出）

■本島の骨格を形成する公共交通体系



出典：沖縄県総合交通体系基本計画(R4年10月)



現状（機能）

- 交通広場（バス、タクシー、K&Rバース）
- P&R駐車場完備（約1,000台収容）
- 路線バス（駅直結5路線）
- シェアサイクル（11ポート）
- 駐輪場（約100台収容）



課題

- 乗り換え案内が分かりづらい
- 駅周辺にバス停が点在（約10か所）
- 待合環境や憩いの場が不十分
- 賑わい機能が不足（飲食販売等）

駅周辺の状況





将来のあるべき姿の検討（みんなで考える）

- てだこ浦西駅の「将来のあるべき姿」の検討にあたっては、行政だけでなく、県民など多様な立場における意見を取り入れるため、有識者及び民間事業者などからなる検討会で意見交換を実施したり、P I（パブリック・インボルブメント）による取り組みを実施しました。

P I 実施状況

※全てR7年度内の実績

検討会 実施：年間3回



オープンハウス 実施：年間2回（県庁ロビー、ゆいレールまつり）



ワークショップ 実施：年間3回（琉球大学、浦添市・西原町・宜野湾市・中城村地域の居住者）





P I で得られた主な意見（まとめ）

➤ P I では、より具体的な意見を募るため、以下3つの機能をベースにして、それぞれの立場において必要となる機能等についてご意見をいただきました。これらの意見は検討に取り入れていくこととしております。

機能 PI	交通(乗換)機能 乗り換え利便性など交通に関する機能	拠点形成機能 賑わいに資する施設やサービスに関する機能	ランドマーク機能 まちづくり、情報発信等に関する機能
検討会	✓ 幸地IC開業後も見据えたP&R駐車場の受入環境の改善（増設／増設以外での対応） ✓ リアルタイム案内情報、バスの受入環境整備 ✓ 高速バスとの結節強化、レンタカー機能	✓ 駅自体の目的地化、駅周辺施設との連携・結節の強化 ✓ 若い世代・子育て世代のための受入環境整備	✓ 駅周辺（区画整理地等）の歩行環境の快適性向上
近隣住民WS (浦添市、西原町)	✓ P&R駐車場の増設 ✓ 駅周辺施設(総合病院、浦西団地等)を循環するバスの走行、バス案内・待合環境強化 ✓ 新モビリティ(電動自転車等)の導入	✓ 交流の場の整備・イベント開催 ✓ 若者が遊べる施設(公園等)の整備 ✓ 飲食施設（飲み屋）、図書館の配置	✓ 非常時対応の宿泊施設 ✓ 安全安心なまち（舗装、街灯、信号機設置など） ✓ まちのブランディング
広域住民WS (宜野湾市、中城村)	✓ P&R駐車場の増設 ✓ 駅発着バスの拡充、バス案内・待合環境強化 ✓ 地域内の周遊バスやコミュニティバスの運行	✓ 子供たちの遊び場（公園等）の整備 ✓ 高架下を活用した飲食・カフェ・居酒屋の配置、イベントの開催	✓ 災害時の駅の開放、浦添総合病院との連携 ✓ てだこ浦西駅らしさの創出
大学生WS	✓ 高速バス停との結節強化（案内、アクセス経路快適化、無料シャトルバス、傘レンタル） ✓ 駅の待合空間整備、シェアサイクル強化拡充	✓ 駅にコンビニや休憩スペースを設置 ✓ 高架下に飲食施設、お土産店、県内初の飲食店（サイゼリヤ）などの配置	✓ 地元住民のための交流施設 ✓ 駅前にシンボル設置 ✓ 景観に配慮したまちづくり
県庁OH (都市圏通勤)	✓ 路線バス、イベント時の臨時バスの拡充 ✓ P&R駐車場の増設、駐輪場の増設 ✓ シェアサイクルの利便性向上（ポート数増）	✓ 待合せ場所、レストラン、喫茶店など人が集まる場所の配置、公園整備 ✓ 本土のような駅ビルの整備	✓ 北谷や名護などの観光地へ繋がるバスの運行
ゆいレールまつりOH (子育て世代)	✓ 広域的なバス路線の拡充 ✓ P&R駐車場の増設	✓ 定期的なイベント開催 ✓ 子供の遊び場整備（公園等）	✓ 子育て支援設備の提供 ✓ 災害時対応用の空間確保
琉球大学 アンケート	✓ バスのリアルタイム運行情報の発信 ✓ バスの増便、土日祝の運行	✓ バスなどの待合所、隣接商業施設との連携	✓ 保育園・託児所送迎などの連携
レンタカー利用者 アンケート	✓ 本島中北部へ公共交通利用の利便性向上が必要 ✓ 高速バスとのスムーズな乗り換え	✓ コンビニ等の売店や飲食店があると便利 ✓ 休憩できるスペースがあると便利	✓ 土産品の販売所や周辺観光施設の情報ががあると便利

まとめ

- | | | |
|--------------------------|----------------------|-----------------|
| ① バス網拡充（路線・高速・地域周遊）、案内強化 | ① 日常的に使う飲食・休憩施設 | ① 安全で快適な歩行環境の整備 |
| ② P&R駐車場の受入環境整備 | ② 駅周辺が目的地となる施設・体験 | ② 防災・子育て支援機能充実 |
| ③ レンタカー機能（デポ・受渡）の配置 | ③ 若者・子育て世代が集う施設・イベント | ③ 駅のブランディング |



てだこ浦西駅の交通結節機能強化方針（コンセプト）

➤ P I で得られた意見も踏まえ、てだこ浦西駅の交通結節機能強化の方針（コンセプト）を整理しました。

コンセプト
1

モノレール・バス・レンタカーほか多様なモビリティツールが集約し、
多方面にシームレスな乗り継ぎ環境を構築

コンセプト
2

日常生活に必要な機能が集積し、目的地としても訪れたくなるような
「賑わい」と「コミュニティ」を創出

コンセプト
3

観光案内・災害情報等の発信機能を備え、誰もが便利かつ安全安心な
利用空間を提供



イメージ図：交通結節点として目指す姿

交通機能（乗り継ぎ環境）

- バス（路線・高速・地域巡回）の結節強化
- 待合環境の整備、乗換案内の強化
- モビリティハブの整備
- レンタカー機能（受渡）の配置
- P&R駐車場、駐輪場等の受入環境整備

3つの機能が連携

拠点形成機能（にぎわい創出）

- 高架下や交通広場を活用した、賑わい・滞留空間の創出（施設、広場）
- 目的毎に利用できる施設・体験等の提供
- まちづくりと連携し、若者や子育て世代も利用しやすい場の提供

ランドマーク機能

- 観光や災害情報等の提供
- 安全、安心なまちづくり（防災機能の確保、子育て支援の機能充実）
- ブランディング（てだこ浦西らしさ）

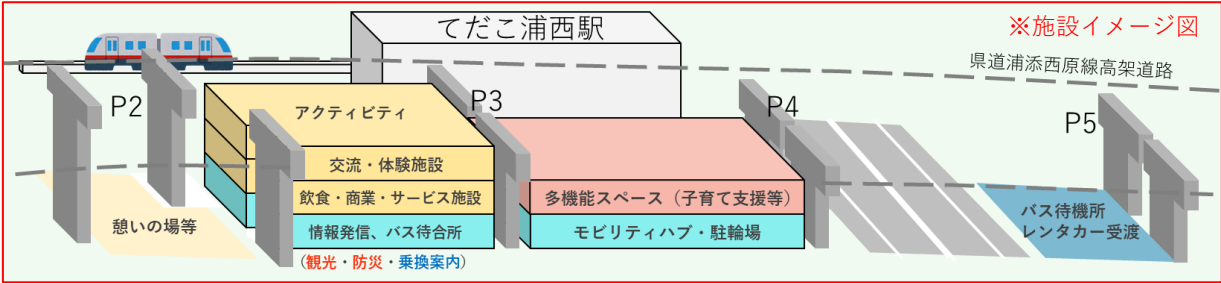


イメージ図：交通ネットワーク強化



てだこ浦西駅横の高架下空間の活用イメージ

➤ 機能強化方針に掲げる3つの機能を配置するため、てだこ浦西駅の横にある道路高架下の空間を有効活用し、多機能集約型の施設整備を検討しております。



7フロア構成(案)



高架下の空間



アクティビティ・交流・体験施設

3 F (屋上)



飲食・商業・サービス施設



多機能スペース (子育て支援等)

2 F



各種案内・まちあい空間
(乗換・観光・防災)



モビリティハブ・駐輪場



バス待機場、レンタカー受渡場

- ※1：2040年、道路の景色が変わる (国土交通省)
- ※2：広島バスセンター「バスマチ」 (広島県広島市)
- ※3：子育てひろば ココフレア (大阪府泉大津市)
- ※4：もんとパーク (大阪府泉大津市)
- ※5：すみだスケートボードパーク (東京都墨田区)

1 F

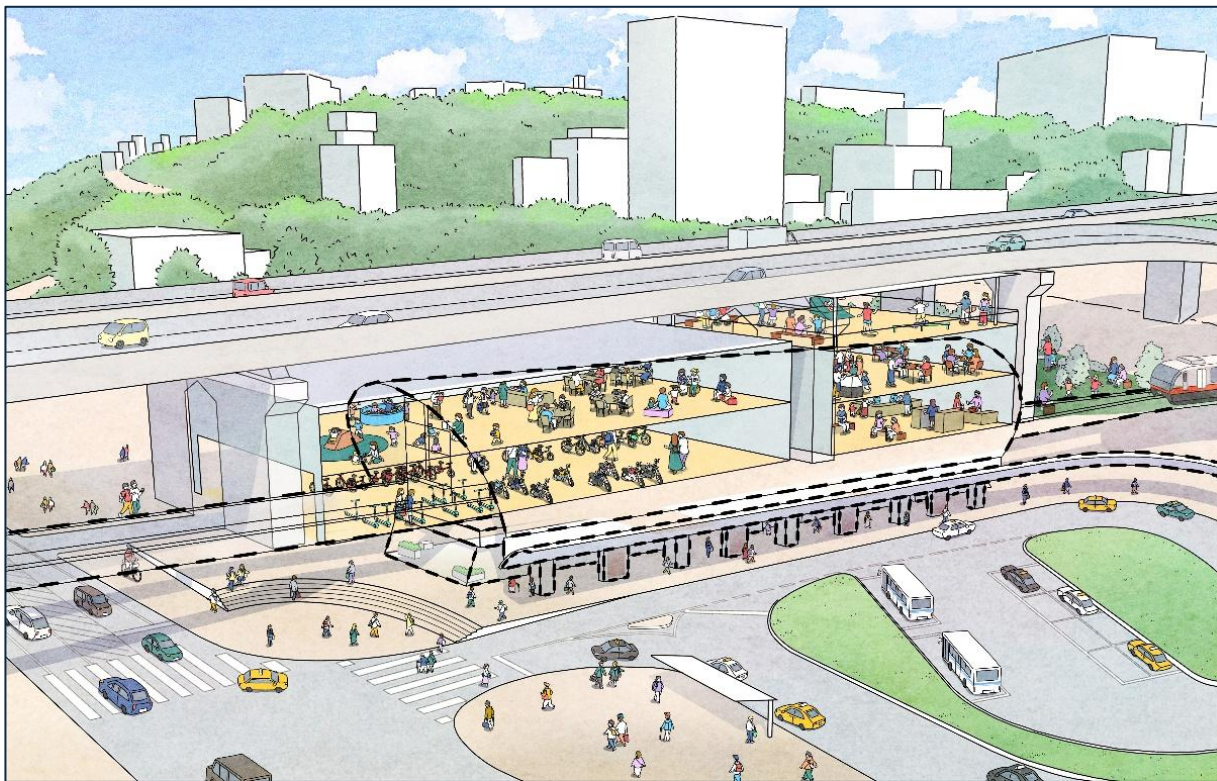
車道



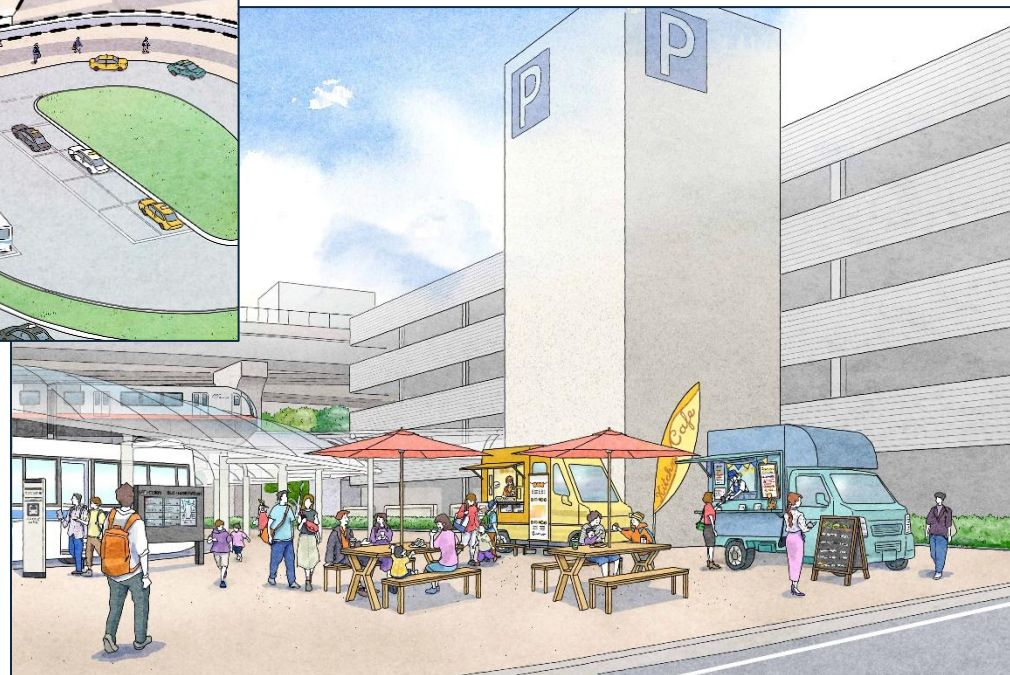
(参考) 将来の整備イメージ

※あくまで現段階でのイメージであり、実際の整備については、関係機関及び民間事業者等との協議・調整を踏まえ検討します。

■高架下活用イメージ



■にぎわい創出イメージ





てだこ浦西駅横の高架下空間の活用イメージ

- 令和8年度は、整備方針などを踏まえ、先行的に以下3つの実証実験を行う予定です。また、実験結果も踏まえ、てだこ浦西駅の交通結節機能強化に関する整備計画を策定予定です。

	実証実験 ①	実証実験 ②	実証実験 ③
	デジタルサイネージ案内板の設置	駅前広場を活用したイベント開催及びキッチンカー等の誘致	てだこ浦西駅から琉球大学病院方面の路線バスの増便実証
実験目的	デジタルサイネージ案内板を設置し、乗換可能なバスの路線やリアルタイム運行情報等を分かりやすく発信することで、モノレールとバスの乗り継ぎ利便性の向上を図る。	駅前広場等を活用したイベントの開催、キッチンカーの誘致を行い、日常的な駅の利便性向上及び賑わい創出を図る。	てだこ浦西駅から琉球大学病院（西普天間）方面の路線バスとの接続を強化することで、那覇都市圏から宜野湾エリアへの移動利便性向上（アクセス強化）を図る。
実験内容	駅の改札前、隣接商業施設内（調整中）でデジタルサイネージを仮設置する。	駅前広場の活用可能な歩行空間にキッチンカー等を誘致する。（一定の期間常設を予定）	既存バス路線を活用し、琉球大学病院方面の系統を増便する。 ※各施設の始業等に間に合う時間帯で増便予定
イメージ	 案内板掲載イメージ図	 事例：ゆいレールまつり  事例：敦賀市国道8号 (引用：ほこみちプロジェクトHP)	 モノレール&バス 連携強化 交通結節点 てだこ浦西駅 琉球大学病院 公共施設 キャンパスエリア 那覇市街地